

皆さん、おはようございます。

まずは、今日、皆さんとこの場で再会できたことをうれしく思います。

例年になく短い夏休みではありましたが、充実した休みになったでしょうか。中学生1日体験入学では、中学生は、サポートしてくれた生徒会やライフデザイン科の皆さんの活躍によって、小松高生の優しさや気配りを知り、見学した部活動の元気で勢いある活動に心が引き寄せられ、満足した笑顔で帰っていきました。小松高校のよいPRになったと思います。ありがとうございました。また、猛暑の中、進学夏季セミナー、3年生の就職セミナー、部活動、そして地域行事への参加と、皆さんの活動が学校を元気づけ、地域の活性化にも繋がっていることにお礼を言いたいと思います。

さて、パナソニックという大企業を立ち上げ、初代の社長でもあった松下幸之助さんは、「人には燃えることが重要だ。燃えるためには薪が必要である。薪は悩みである。悩みが人を成長させる。」と言っています。

2学期は体育大会に始まって多くの学校行事があり、仲間とともに、磨き高め合うよい機会です。また、「読書の秋」「スポーツの秋」「芸術の秋」とも言われ、じっくりと自己と向き合い、自己を高める、よい時期でもあります。大いに燃え、悩み、成長してください。そして、失敗を恐れず、積極的にチャレンジしてください。

もしかしたら、一生懸命取り組む中で、意見の食い違い、衝突が起こることがあるかもしれません。

私は皆さんへの希望として、仲間との出会いや付き合いの中で、思いや考え方をもっとぶつけ合って、時には、自分の幼さとか、狭く偏った考えにとらわれている自分に気付く機会を持ってほしいと思っています。私自身、この年になっても人と話をする中で、「ああ、そういう考え方もあるのか」とか、「しまった、自分が至らなかった」とか思うことが度々あります。生徒の皆さん、若い今だからこそ、一層、人と向き合って、意見を戦わせることで、自分を鍛えて成長して行ってほしいと願っています。

少し話は変わりますが、行事では、一人一役の気持ちで、何か一つでも自分が役割を担うという気持ちで、参加してほしいと思います。そして、先生方は、そういう気持ちを見えています。陰で支えている、頑張っている人のことも、ちゃんと見ているということ、伝えておきたいと思います。

最後になりましたが、3年生にとっては、入試や就職試験がすぐそこに迫っています。進路を決定していく一番の山場の学期です。皆さんの成功を祈っています。

この2学期が、全校生徒の皆さん一人一人にとって「実りの秋」となることを願って、式辞といたします。